資料１－１

第２期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略
（計画期間　令和３年度～令和７年度）

総合戦略に基づく施策の
令和７年度取組状況等について

１．西尾市の人口動態

１．推計人口

令和7年10月1日現在の西尾市の人口は166,726人で、前年と比べて419人減少した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	前年比
総人口		167,990	168,743	169,352	169,592	169,984	169,046	168,591	168,209	167,907	167,145	166,726	▲ 419
	0～14歳	24,236	24,188	24,222	23,881	23,559	23,652	23,416	23,071	22,658	22,097	21,611	▲ 486
	15～64歳	103,106	102,913	102,796	102,616	101,659	101,835	101,266	101,137	101,181	100,847	100,859	12
	65歳以上	40,211	41,205	41,920	43,050	43,463	43,050	43,832	43,930	44,068	44,201	44,256	55
	100歳以上	－	－	－	－	－	－	77	71	－	-	-	－
	不詳	437	437	414	437	437	437	－	－	－	-	-	－

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

※H22年とH27とR2年は国勢調査（確定値）。R3年以降はR2年国勢調査確定値を基準値とする推計人口

※R3年以降については、不詳を各年齢区分に補完。R5年以降は、65歳以上の区分に100歳以上の人口を含む。

２．自然動態

令和7年の自然動態は、出生数が999人（対前年比107人減）、死亡者数が1,936人（対前年比85人減）となり、937人の減少となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	前年比
出生	1,423	1,470	1,412	1,341	1,328	1,252	1,223	1,143	1,092	1,106	999	▲ 107
死亡	1,621	1,555	1,743	1,658	1,668	1,634	1,750	1,945	1,948	2,021	1,936	▲ 85
自然増減…①	▲ 198	▲ 85	▲ 331	▲ 317	▲ 340	▲ 382	▲ 527	▲ 802	▲ 856	▲ 915	▲ 937	▲ 22

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

３．社会動態

令和7年の社会動態は、転入者数が7,262人（対前年比593人増）、転出者数が6,765人（対前年比197人増）などとなり、518人の増加となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	前年比
転入	5,970	6,619	6,842	7,352	8,025	5,795	5,962	6,853	6,960	6,669	7,262	593
転出	5,556	5,907	6,031	6,729	7,253	6,262	5,905	6,434	6,427	6,568	6,765	197
その他増減	306	126	129	▲ 66	▲ 40	▲ 17	15	1	21	52	21	▲ 31
社会増減…②	720	838	940	557	732	▲ 484	72	420	554	153	518	365

出典：愛知県人口動向調査（愛知県統計課）

４．人口増減

自然増減①と社会増減②でみる令和7年の人口増減は419人の減少となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	前年比
人口増減…①＋②	522	753	609	240	392	▲ 866	▲ 455	▲ 382	▲ 302	▲ 762	▲ 419	343

２．施策の取組状況

【基本目標１】『まち』
地域の魅力を磨き、快適な暮らしができ、にぎわいのあるまちを形成する
多様な交流が生まれるにぎわいに満ち、まちに誇りや愛着を感じながらいつまでも安心して暮らせるまちをつくります。

【にしおマラソン】

令和８年１月に第４回にしおマラソンを開催し、フルマラソンの部 6,987 人、5km の部 550 人、2km の部 540 人のエントリーがあった。昨年度に引き続き、ふるさと納税制度を活用した出走権には 288 件の申込みがあり、市外参加者は全体の約８割であった。

引き続き、マラソン参加による市民等の健康増進に取り組むとともに、ふるさと納税による市税歳入増加と観光地・特産品ＰＲに取り組む。

【ふるさと応援寄附金制度】

令和６年から展開する「西尾市版ふるさと納税 3.0」戦略により、主力ポータルサイトにおける返礼品の見せ方の改善、公式インスタグラムの活用、事業者向け説明会の開催など寄附者獲得に向けて取り組んだ。

その結果、令和７年度のふるさと納税の受入れは、寄附件数 195,848 件、寄附受入額は約 30 億 7,852 万円となり、ともに過去最高となった。

令和８年６月に新たに開設した公式 LINE を活用したプッシュ型の情報発信により、返礼品情報に加えて観光情報なども提供し、関係人口の拡大を図る。

加えて、寄附の使い道への共感を促すクラウドファンディング型の取組を行い、共感に基づく寄附の拡大につなげる。

【地域公共交通運行事業】

コミュニティバス、いこまいかーなどの運行により、地域住民の日常生活における移動手段を確保した。併せて、民間路線バスへの補助を引き続き実施することで、公共交通ネットワークの維持確保に努めた。また、令和７年 10 月から、一色地区において相乗りタクシーの本格運用を開始した。

【名鉄西尾・蒲郡線対策事業】

令和９年度から蒲郡線の事業構造をみなし上下分離方式に変更して存続するため、沿線自治体と名古屋鉄道との協定書の締結及び鉄道事業再構築計画の策

定に向けた準備を進めた。協定書の締結と再構築実施計画の策定は令和８年度中に完了する予定。

また、利用促進事業に対する補助を実施したほか、西尾駅の自転車駐輪場の整備を行った。

【佐久島活性化事業】

令和７年度は「佐久島私たちのSDGｓの活動」で、藻場の再生活動280人、里山保全活動126人、黒壁運動100人、海岸漂着ゴミ回収600人が参加した。

今後は、ブルーカーボン関連の活動にも力を入れ、佐久島のPRを含め関係人口の増加を図る。

【西尾市観光協会連携事業】

SNSを活用したデジタルマーケティング事業や観光コンテンツを生かした新たなツアー開発に対する支援等を行い、観光協会と連携を図りながら本市への誘客を図った。

今後は、インバウンドの推進として、販売チャンネルを増やしたり、モニターツアー等を実施したりすることで、これまで以上に誘客促進を図っていく。

【行政手続きのスマート化事業】

令和４年から運用を開始したスマート申請により、諸証明の申請から本人確認、オンライン決済までを一貫して行える環境を維持した。お盆や年末年始にはサービスの周知を強化し、窓口混雑の緩和や利用者の拡大を図った。

令和７年度の利用件数は、年間1,577件、月平均131件だった。

【書かない窓口システム導入事業】

令和６年に導入した「らくっと窓口」に、新たに事前申請機能と来庁予約機能を追加した。また、来庁時に事前申請の案内チラシを配布し、次回以降の手続きでの利用につながる直接的な周知に取り組んだ。

令和７年度の利用実績は、証明書交付（２種類）1,065件、申請手続き13,272件、事前申請479件、来庁予約39件であった。

今後は、利用データの分析に基づき利用の少ないイベント（手続き）の見直しを行うとともに、既存のスマート申請との役割整理や、対象手続きの更なる拡大を検討する。

【基本目標２】『ひと』
次代を担う子どもの育成と、多様な人材の活躍を推進する

若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくるとともに、多様な人材が活躍できるまちをつくります。

【結婚支援事業】

前年度に引き続き、対面式の婚活イベント「にしお de 婚活」を２回開催したほか、マッチングアプリセミナーや、高校生を対象にライフデザインセミナーを開催し、結婚に対する機運醸成を図った。

令和８年度以降は、民間事業者とも連携し、婚活の取組みを支援する官民連携事業へ変更し、予算規模を縮小しつつ結婚支援としての効果の拡大を図る。

【子ども医療費支給事業】

子どもの通院については 15 歳の年度末まで、入院については 18 歳の年度末まで、保険診療による医療費の自己負担分を助成した。令和８年度からは、通院についても 18 歳の年度末まで助成を拡大している。

【寺子屋にしお推進事業】

放課後に地域で健全な子どもを育成する目的で、公共施設７か所、寺院４か所、個人宅１か所の計 12 教室を開設した。また、令和７年からは、教室の小学校区外からも受入れを可能とした。令和７年度の延べ開設日数は 722 日、参加者数は 7,753 人であった。

今後は、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供しながら、参加者と地域の要望に応じて教室の増設等を検討する。

【学校における ICT 環境の整備と活用】

学校における ICT 環境の拡充のため必要な機器を追加整備するとともに、教員向け研修を実施した。あわせて、一人一台端末の更新や AI ドリル等のソフトウェア導入を行った。

【図書館利用促進事業】

４月 23 日の「西尾市子ども読書の日」にあわせ、「西尾っ子読書フェスティバル」を開催し、絵本作家の岡田よしたか氏による講演会や親子向けイベントを実施した。あわせて、定例おはなし会、子ども司書養成講座、読書通帳を活用したイベント、読み聞かせ講座等を継続して実施した。

【生涯学習センター建設事業】

生涯学習センターの建設工事に着手した。引き続き、建築工事を進め、令和９年４月の供用開始を予定している。

【基本目標３】『しごと』
地域の特色を生かした稼ぐ地域の形成と安心して働ける場を維持・拡大する
市内に十分な雇用の場があり誰もがいきがいを感じて働くことができるまちをつくります。

【スマートアグリシティ西尾構想の推進】

JA 西三河いちご部会及びきゅうり部会が令和７年に認定を受けた生産方式革新実施計画に基づき、環境モニタリングシステム等から得られるハウス内データを農協と共有し、出荷予測や品質情報も含めた栽培管理に活用した。本取組を引き続き継続していく。

【新規就農者等支援事業】

就農初期の生活基盤の安定と経営定着を図るため、令和３年度以前に経営開始した者には年間最大 150 万円を最長５年間、令和４年度以降には年間最大 150 万円を最長３年間交付した。併せて、令和４年度以降に経営開始又は経営継承した者には、設備投資資金として最大 750 万円を交付する。

令和７年度は、事業対象者 13 名に対し 36,258 千円を交付した。

【中心市街地活性化事業】

令和６年に官民一体となって策定した「にしおまちなか未来ビジョン」に基づき、公共空間活用の社会実験や飲み歩きイベントなどの市民プロジェクトを実施し、多くの市民や団体を巻き込みながらまちなかの賑わい創出を図った。

【小規模事業者事業承継】

包括協定を締結している関係機関に日本政策金融公庫及び東海税理士会西尾支部を加えた７者連携のもと、事業承継に関する情報共有と相談支援のサービスを提供した。

【企業戦略総合支援事業】

市場開拓や販路拡大を目指して見本市等へ出展する市内企業に対し、企業見本市等出展支援事業補助金を５社、総額 1,185 千円交付した。

企業の経営基盤の強化及び雇用の維持拡大を促進するため、今後も支援を継続していく。

【子ども・若者育成支援事業】

子ども・若者総合相談センター「コンパス」を中心に、子どもや若者、その保護者からの多様な相談に対応した。

今後は、関係機関とも連携し、学習支援や不登校傾向への対応、就職相談などの包括的な支援を行っていく。

資料１－２

第２期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略　指標一覧

「実績値」欄のうち、特記ないものは各年度3月31日時点で集計
「進捗状況」欄のうち、「ほぼ達成」は目標値の85%以上を達成しているもの

【基本目標１】『まち』　地域の魅力を磨き、快適な暮らしができ、にぎわいのあるまちを形成する

政策目標指標	基準値	目標値	実績値					進捗状況	担当課	備考
			R3	R4	R5	R6	R7			
交流人口 （観光入込客数）	352万人 （R1）	450万人 （R5）	264万人	349万人	417万人	408万人	**414万人**	ほぼ達成	観光文化振興課	

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値	実績値					進捗状況	担当課	備考
			R3	R4	R5	R6	R7			
佐久島交流人口	106,000人 （R1）	120,000人 （R7）	81,777人	79,816人	75,000人	67,831人	**65,112人**	未達成	佐久島振興課	
成人の週１回以上のスポーツ実施の割合	46.7% （R2）	50% （R6）	―	52.10%	―	49.40%	**49.40% （R6）**	ほぼ達成	スポーツ振興課	隔年実施の市政世論調査により集計するため、R7実績欄はR6実績と同値。
にしおマラソン参加者	4,259人 （R1）	7,000人 （R7）	4,190人	0人 （開催せず）	6,014人	7,389人	**8,077人**	達成	スポーツ振興課	基準値は、R1年度開催の一色マラソンの参加者数。 R3はオンラインイベントエントリー含む。
国内トップレベルの大会開催数	2大会 （R1）	4大会 （R7）	3大会	0大会	2大会	0大会	**5大会**	未達成	スポーツ振興課	全日本社会人ボクシング選手権、女子ジュニアボクシング選手権大会、ＳＶリーグ女子レギュラーシーズン（２回）、Ｗリーグレギュラーシーズン
観光用Wi-Fiアクセスポイント数	56か所 （R1）	70か所 （R7）	48か所	41か所	37か所	37か所	**0か所**	未達成	観光文化振興課	サービスが廃止となったため。
外国人宿泊者数（吉良温泉）	18,428人 （R1）	20,000人 （R7）	219人	638人	2,556人	―	**8,729人**	未達成	観光文化振興課	R6は集計方法の変更により実績を把握できず。
ワーケーションプラン利用人数	0人/年 （R3）	10人/年 （R7）	2人/年 （1人×2日）	0人	50人/年	2人/年	**16人/年**	達成	佐久島振興課	
観光協会ホームページアクセス数	592,732件 （R1）	800,000件 （R7）	632,030件	661,913件	830,228件	910,618件	**965,672件**	達成	観光文化振興課	
名鉄西尾・蒲郡線年間利用者数	3,324,568人 （R1）	3,494,000人 （R7）	2,787,326人	2,946,952人	3,063,661人	3,066,298人	**3,076,295人**	ほぼ達成	地域つながり課	
コミュニティバス年間利用者数	119,198人 （R1）	180,000人 （R7）	186,111人 （内2,745人）	213,776人 （内3,474人）	243,524人 （内3,126人）	249,280人 （内3,097人）	**254,246人**	達成	地域つながり課	R3～R6実績欄の内数は、いっちゃんバスの利用者数。
いこまいか一年間利用者数	2,254人 （R1）	2,300人 （R7）	5,613人	6,341人	6,942人	7,908人	**9,469人**	達成	地域つながり課	
ふれんどバス年間利用者数	304,975人 （H30.10～R1.9）	305,000人 （R6.10～R7.9）	247,915人	255,499人	276,002人	281,541人	**306,822人**	達成	地域つながり課	
名鉄東部交通バス年間利用者数	367,759人 （H30.10～R1.9）	368,000人 （R6.10～R7.9）	320,860人	329,381人	410,689人	390,315人	**446,825人**	達成	地域つながり課	R2.4の一部廃止路線は除く。
佐久島渡船年間利用者数	251,000人 （R1）	260,000人 （R7）	203,886人	202,614人	192,000人	176,656人	**169,972人**	未達成	佐久島振興課	

資料１－２

第２期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略　指標一覧

「実績値」欄のうち、特記ないものは各年度3月31日時点で集計
「進捗状況」欄のうち、「ほぼ達成」は目標値の85%以上を達成しているもの

【基本目標２】『ひと』　次代を担う子どもの育成と、多様な人材の活躍を推進する

政策目標指標	基準値	目標値	実績値					進捗状況	担当課	備考
			R3	R4	R5	R6	R7			
年間出生数 【住民基本台帳登録】	1,367人 (H30)	1,400人 (R7)	1,218人	1,102人	1,122人	1,099人	**991人**	未達成	秘書政策課	各年1月1日～12月31日の集計（外国人を含む）

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値	実績値					進捗状況	担当課	備考
			R3	R4	R5	R6	R7			
合計特殊出生率	1.54 (H26～H30平均)	1.58 (R7)	1.44 (R2)	1.45 (R3)	1.31 (R4)	1.27 (R5)	**1.23 (R6)**	未達成	秘書政策課	
出産祝い金の受給者数	1,286人 (R1)	1,400人 (R7)	1,216人	1,107人	803人	1,088人	**1,068人**	未達成	子育て支援課	R7.4以降の妊娠届提出分から妊婦支援給付金に移行
放課後児童クラブの待機児童数	32人 (R1)	0人 (R7)	0人	0人	0人	4人	**8人**	未達成	子育て支援課	
図書館貸出カードの登録率（18歳以下の子ども）	40% (R1)	60% (R7)	54.20%	55.80%	57.90%	64%	**70%**	達成	図書館	各年度、人口は翌年度の4月1日時点で集計。
参加人数(マルチ・カルチャー・キャンプin佐久島)	0人 (R2)	50人 (R7)	0人	0人	0人	0人	**0人**	未達成	学校教育課	事業未実施
寺子屋にしお開設数	12教室 (R1)	13教室 (R7)	11教室	12教室	12教室	13教室	**12教室**	ほぼ達成	生涯学習課	

【基本目標３】『しごと』　地域の特色を生かした稼ぐ地域の形成と安心して働ける場を維持・拡大する

政策目標指標	基準値	目標値	実績値					進捗状況	担当課	備考
			R3	R4	R5	R6	R7			
製造業の従業者数（従業者４人以上の事業所）【工業統計】	40,950人 (R1)	48,750人 (R7)	40,500人 (R2)	36,213人 (R3)	33,850人 (R4)	33,630人 (R5)	**34,343人 (R6)**	未達成	商工振興課	R4から「工業統計」は「経済構造実態調査」へ変更

KPI（重要業績評価指標）	基準値	目標値	実績値					進捗状況	担当課	備考
			R3	R4	R5	R6	R7			
特産品による新商品開発数（累計）	11件 (R1)	16件 (R7)	13件	13件	14件	16件	**16件**	達成	観光文化振興課	
東京での物産展における西尾市の認知度	42% (R1)	50% (R7)	42% (R1)	56.3%	ー	ー	**62.7%**	達成	観光文化振興課	
事業承継支援実績（累計）	15件 (R1)	27件 (R7)	25件	25件	36件	52件	**55件**	達成	商工振興課	
展示会出展数（累計）	50件 (R1)	65件 (R7)	52件	52件	58件	63件	**66件**	達成	商工振興課	
販路拡大の商談数（累計）	70件 (R1)	90件 (R7)	132件	132件	147件	149件	**149件**	達成	商工振興課	
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	79人 (R1)	140人 (R7)	117人	134人	176人	191人	**206人**	達成	商工振興課	

資料２

令和７年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）の事業実績等について

令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）　実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (R8.3時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり事業 （交付金事業期間：R3～R7年度）	①フルマラソン大会等の開催による健康づくり事業 生活習慣病のリスクが低い方に対して、運動習慣を身に付けてもらい生活習慣病を予防できるよう、ポピュレーションアプローチの一環として、また、本市が健康づくりのまちとしてＰＲしていくためのシンボル的イベントとしてフルマラソン大会を開催する。大会は市内外からの一般参加が可能で、かつ、県内では現時点で本市のみの開催となる男女同時参加の公道を使用したフルマラソン大会として開催する。開催は、民間団体と連携した実行委員会を設立し進めるとともに、大会の開催に合わせて、地元商工業団体と連携し、県内外から訪れる大会参加者に西尾市の地場産品等のPRを行い、市内消費の増加を図る。	113,095,283	補助金　113,095,283	市民マラソン参加者数 市外からのマラソン参加者数	1,150人 4,600人	1,253人 6,811人	令和8年1月に開催した第4回大会には、全国46都道府県と海外4か国・地域から8,000名を超えるランナーが参加（フルマラソン、5km、2kmの全エントリー数）。 うなぎや抹茶といった市の特産品を味わえるエイド、市街地から田園地帯、海岸線を通る風光明媚なコース、市民や会社単位での大掛かりな応援等を実施し、西尾市ならではのマラソンを開催。	大会実績のノウハウから事業費の削減に努めるとともに新たな協賛金確保に努め、前年より補助金を1,600万円削減しながらランナー満足度を高め、大会として初めてMCC年間大賞（アールビーズ財団主催）を受賞。ランナーによるロコミ評価点も91.6点で過去最高となっている。 市外からの来場者のため商工会議所会員による物産展はほとんどの出展者で売り切れ、今回初めて取り組んだマラソンウィークでは、市内事業者から参加したいと自主的な連絡をもらい、経済波及効果への反映もできてきた。 地域住民の理解も進んできており、交通規制による協力理解が得られているほか、住民による自発的な応援があり、参加者・応援者ともに満足できる事業となっている。	引き続き、協賛金確保に努めるとともに事業内容・費用の見直しを行い、経費の抑制、補助金に頼らない事業運営を目指す。 また、経済波及効果を高めるために他課や経済団体と連携し、さらなる市内経済波及効果をもたらせられるようにしていく。 市民が積極的に運動を行う動機付けや市民の健康づくり支援のため、市民マラソン参加者を増やすための施策（5km・2kmコースの設定、市民向けランニング教室等）も引き続き継続していきたい。
	②観光資源を活用した健康ツーリズム事業 スギ薬局と連携し、企業等における健康診査などにおいて、健康上のリスクのある人（特定保健指導の対象者及び対象にならないがリスクの高い人）を対象に、市内の温泉や抹茶等の食の資源を活用した健康プログラムを企画開発する。また、企画開発したプログラムを組み込んだモニターツアーを実施し、プログラムの検証と改善を図るとともに、観光事業者と連携して健康ツーリズム商品としての販売拡大を目指す。	1,707,371	印刷製本費　166,100 参加者助成　168,100 コンテンツ制作費　453,130 広告宣伝費　480,041 出展費　440,000	健康ツーリズム参加者数	95人	63人	民間企業と連携を図り、生活習慣病予防を目的として、市内の温泉旅館（吉良温泉）にて健康体操や健康料理の提供など健康指導を行うプログラムを開発。令和５年度に行ったアンケートをもとに、ツアーコンテンツのブラッシュアップを図り、ツアー販売を実施した。ツアーの浸透を図り、健康経営企業に積極的に取り入れてもらうため、一部ツアー料金を補助して販売した。ツアーコンテンツは、吉良温泉の効能の説明と入浴、食事指導の他、市内の観光資源を活かし、吉良エリアの豊かな自然の中を散策しながら好きな場所で自ら抹茶を点てて飲む野点を取り入れ、令和７年度は新たに睡眠の質を高める枕を導入した。	令和５年度よりも早い段階で告知を展開し、周知に努めることで、参加者の増加につながった。民間企業と連携したプログラムとしたことにより、事業者の持っている健康相談のノウハウや健康機器を活用することができた。 また、吉良温泉と連携し、温泉特有の環境を活用することで入浴や食事、自然の中を散策するなど、体験型メニューを組み入れることで行動変容を促すプログラムを実施できた。世界的にも注目を集めている抹茶の体験と「西尾らしさ」をツアーに組み込みたいと考え、抹茶の野点を取り入れた。このことから、健康への効能が期待される西尾の抹茶や自然豊かな景観が売りの吉良温泉のＰＲにつながるとともに、手軽に楽しむことができる抹茶の野点体験などを通じて、「リフレッシュ体験」と「健康増進」を併せ持つプラグラムを作成することができた。 さらに、令和６年度は、睡眠計を取り入れ、令和７年度からは睡眠の質を高める枕を道入、宿泊を伴う健康プログラムとして、内容はブラッシュアップしてきたが、年々参加者が増加するため補助金の額を減額した影響もあってか、参加者数は前年の半分となった。	令和３年度から５年間補助金を受けて実施をしてきた。一定程度の実績はあったが、補助金ありきでの利用も多く、補助期間も終了となるため、全体事業としては休止する。これまでに作成したマップや備品などを各宿泊施設で活用できるかは継続して検討していく。

令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）　実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 （R8.3時点）	実施内容	事業評価	今後の方針
デジタルマーケティングによる観光プロモーション事業 （交付金事業期間：R5～R7年度）	多くの旅行者が旅先で行う情報収集や予約行動は、インターネットを活用し行っている現状から、旅行者のニーズをより的確に把握し、効率よく消費行動などにつなげるため、デジタルを戦略的に活用する事業を展開する。訴求力の高い観光コンテンツを組み込んだ動画を作成し、効果的かつ効率的な広告配信を行うとともに、動画広告等に対する視聴者の反応やニーズ等を可視化するための調査分析を行い、そこから得られた結果を今後の観光施策にフィードバックすることで、観光事業の精度をさらに高めていく。	20,000,000	データの利活用とマーケティング支援業務（委託費）　2,000,000 訪日外国人観光誘客促進事業（委託費）　6,000,000 EBPMによるインバウンドツアー造成と地域間連携業務（委託費）　10,000,000 ユニバーサルツーリズム推進業務（委託費）　2,000,000	本事業で造成したツアーの参加者数・宿泊者数	300人	309人	【データの利活用とマーケティング支援業務】 令和６年度での広告配信等のデータを活用し、ニーズ等を把握し観光関連事業者と共有した。 【訪日外国人観光誘客促進事業】 アジア圏のインフルエンサーを招聘し、プロモーションを実施。 【EBPMによるインバウンドツアー造成と地域間連携業務】 データに基づき複数のツアーを造成。インバウンド向けには抹茶体験ツアーを造成し、誘客を図った。 【ユニバーサルツーリズム推進業務】 西尾市観光協会のホームページを多言語化を行った。また、地域観光事業者に対し、スキルアップセミナーを実施した。	前年度に造成したツアーのブラッシュアップを行うとともに、新たに抹茶関連のツアーを２つ造成。 SNS広告も過年度に得られたデータを活用して集中した配信を実施し、大きなリーチ数を獲得した。 受け入れ環境の整備ではLP（ランディングページ：SNSなどから最初に訪れるページ）の更なる改修を実施し、ツアー等への動線をよりわかりやすくした。また、観光事業者を対象にスキルアップセミナーを開催し、観光の受け皿の強化を図った。	事業初年度から３年目にかけて、分析から誘客までの仕組みをデータに基づき構築した。 今後は、本事業で制作された国内・海外問わず訴求できる動画や、人を呼べるツアーを継続的に活用し、誘客を図っていく。 また、観光協会のホームページやSNSとの連携についても、引き続き検証を行い利用者が使いやすい改修を検討していく。
				SNS広告等からの本市観光ページへのリーチ数	450件	174,343件			
				YouTubeにおける動画再生回数	30万回	5,147,297回			
				首都圏における本市の認知度（アンケートにより実施）	44%	63%			

令和７年度　新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）　実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (R8.3時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
西尾未来共創拠点運営事業 （交付金事業期間：R6～R8年度）	西尾未来共創拠点運営事業では、外部からチーフコンサルタント、専門アドバイザーを配置し、市の直営で事業支援を開始するとともに、各種セミナー等イベントや、事業者間の交流を活発化させるため、コミュニティ形成などを展開する。そのほか、ビジネスプランコンテストを実施し、新規事業提案の機運を醸成する。 ビジネスプランコンテスト運営事業では、創業・起業に地域の課題を合わせた事業提案や高校生部門での提案募集を行い、イノベーション創出の土壌を育むスタートを切る	20,630,205	（謝礼） 専門アドバイザー謝礼　3,627,480 セミナー講師謝礼　120,000 （事務事業費） 光熱水費　313,431 通信運搬費　168,780 複写機使用料　429,940 施設借上料　2,640,000 （委託料） 顧客管理システム運用保守　1,318,900 Webサイト運用保守　495,000 （補助金） 西尾市未来共創補助金（ビジネスプランコンテスト）　3,820,000 運営業務委託料　7,696,674	事業相談数 ビジネスプランコンテストプラン提 イベント数	450件 15件 6件	651件 13件 10件	中小企業診断士の資格をもつチーフコンサルタントを始め、各分野の専門家を配置し、事業者の経営課題を伴走型で支援。 「明日から使える」をテーマにビジネスのヒントとなるセミナーを開催。 新規事業・創業などの支援のため、チーフが認めた費用を補助。 新しいビジネスアイデアを持つ人々に起業の機会を提供することで、「起業 ・創業の機運の醸成 」や「地域課題の解決 」「地域の魅力発信 」「地域経済の活性化 」を図ることを目的としたビジネスプランコンテストを開催。	事業２年目となり、予約が１か月後まで埋まるくらいの相談数が入っており、想定を超える相談件数であり、リピート率も８割を超え大変好評をいただいてる。 相談を重ねたうえで交付決定をする西尾市未来共創補助金についても、新規事業や創業の後押しになっていると評価している。 ビジネスプランコンテストも３回目の開催となり、一般応募５５件、高校生応募１０７件ととても注目度の高いイベントとなり、地域のことを考えるきっかけとなるイベントであると評価している。次年度は、市内企業が抱える課題に対し、高校生が主体的に取り組む高校生特化のイベントとしてリニューアルする。	経営相談は、リピート率から大変好評である反面、新規の相談までの時間がかかってしまうという現状である。 チーフコーディネーターに偏っている相談業務を、専門アドバイザーへ繋ぐための配置強化とともに、チーフコーディネーターのサブとして相談業務を受け持つことができるよう人材育成が必要であると考える。 また、地域経済の活性化への影響を考慮し、個人事業主だけでなく製造業などの企業の相談も増やしていくためには、引き続き、国庫補助を受けながら事業を継続していく必要があると考えている。

【参考】地域未来交付金に係る事務連絡（「地域未来推進型の取扱いについて」）より抜粋

（５）地域未来推進型については、将来的に本交付金に頼らずに、事業として自走することを前提としており、事業期間は原則３か年度以内とする一方で、
効果の発現までに時間を要すると認められるソフト事業については、交付決定を受けた直近の実施計画における事業計画期間の終了直前の募集回に限り、
２か年度までの事業期間の延長申請を可能とする。その際、内閣府地方創生推進事務局において、審査を行う。

・事業期間の延長を申請する場合は、以下の要件を全て満たすこと。
① 事業期間の延長について、地域の多様な主体の参画による評価の内容を踏まえたものであり、当該評価の内容を踏まえた事業の見直しが図られていること。
② 当初の事業計画期間のKPIの目標値を１つ以上達成（見込みも可）していること。

地方創生拠点整備交付金　実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (R8.3時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり促進のための拠点施設整備計画 （交付金事業期間：R4年度）	プロスポーツをはじめとした大規模大会を誘致できるよう西尾市総合体育館の観客席を増設し、大規模大会、広域大会等のイベント誘致を行い観戦者を増加させ、市外からの来訪人口を増やす。 　本施設は国道23号線（岡崎バイパス）のＩＣから車で約２分の立地であることから、この開催に合わせて同バイパス沿いの道の駅「にしお岡ノ山」と連携し大会とのコラボイベント企画等を行うことで、道の駅にも来訪者を誘導することができ、特産品のＰＲ及び消費喚起を促すことができる。このような観光資源を組み合わせたスポーツツーリズムを作り出すことで観光入込客数の増加や知名度の向上につなげる。 　また、トップレベルの大会を観戦することで市民のスポーツに対する関心を高め、スポーツ実施率の向上につなげ、体育館の利用率の向上と市民の健康寿命の延伸を図る。	142,230,000	工事請負費 移動観覧席設置工事　105,600,000 備品購入費 移動観覧席製造　36,630,000 計　142,230,000	西尾市総合体育館の利用者数	50,000人	290,316人	総合体育館メインアリーナにおいて、全日本社会人ボクシング選手権、女子ジュニアボクシング選手権大会、ＳＶリーグ女子レギュラーシーズン（２回）、Ｗリーグレギュラーシーズンの試合を実施した。	アジア競技大会に向け令和6年度から施工していた大規模改修工事が令和7年10月に終わり、令和7年度の利用期間は11月から３月までの５か月間であったが、その間に様々な大規模大会を実施することが出来た。また、令和7年度から指定管理者制度を導入しており、指定管理者が企画したイベントや、他課のイベントの実施会場となるなど、大規模大会以外にもイベントを実施することで、利用者数を大幅に増加させることが出来た。	令和8年度はアジア競技大会が実施されるため、11月までは総合体育館の利用が大幅に制限されるので、11月以降は積極的に大規模大会の開催に努めたい。
				国内トップレベルの大会開催数	3回	3回			